

科目名	美道プロジェクトⅡ			Subject	BIDO ProjectⅡ			
サブタイトル	EQ(感情知性)プロジェクトや外部講師の講話を聞き、協働を通じた成果をだす。リーダーとして、自分の「美しく生きる」を体現するビジョンを表現する。							
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」					
開講年次	開講時期	必修／選択	DP1 知識・技能	DP2 主体的行動力	DP3 課題解決能力	DP4 多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	DP5 日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	DP6 美しく生きる力を実践できる能力
2年	通年	必修						
授業形態	単位	時間						
演習	2単位	60時間						
ゲストスピーカー招聘回		4, 11, 12		○	○	○		◎
教員名	池照佳代・眞柄真有奈・森真理				メールアドレス	kayo.iketeru@skycampus.jp mari.mori@skycampus.jp mayuna.yamada@skycampus.jp		
教員の略歴	池照 ECC 英会話学校講師、米国・ヨーロッパ企業5社 (Mars,Ford Motors, adidas, Pfizer, Pall) にて人事、経営企画職に従事後、2006年 法政大学大学院イノベーションマネジメント研究科にて MBA (経営学修士) を取得。大学院在学時に㈱アイズプラスを設立し、代表取締役役に就任。主に企業向けに人事・経営顧問、人事アドバイザー、EQ (感情知性)、多様性、リーダーシッププログラム等を企画・講師業務を提供。著書：『感情マネジメント ～自分とチームの「気持ち」を知り 最高の成果を生み出す～』2021年 ダイヤモンド社 眞柄 WEB/IT 上場企業3社にて営業・人事を経て 2016 年にプロフェッショナルコーチとして独立。2019 年にソウルフルライフ株式会社を立ち上げ個人・法人のエグゼクティブ・管理職に向けてコーチング・研修等を行っている。著書「叶ったつもりでワクワクするだけ 人生が変わる予祝のまほう」を日本実業出版社より 2024 年 4 月出版。 森 明治大学商学部卒業後、外資系製薬企業にて MR として従事した後、転職を経て医薬品の臨床研究受託プロジェクトマネジメントや、新薬マーケティングコンサルを経験。2023 年よりコーチとして独立し、パーソナルコーチングを提供する他、株式会社ホワイトシップの法人企画部長および、一般社団法人 ELAB 理事として、アートによる創造的学びのプログラム「EGAKU」のプログラム設計やファシリテーションに携わり、高校・大学・企業での研修を行っている。2019 年グローバル経営大学院大学にて MBA (経営学修士) 取得。							
実践的教育	(眞柄) コーチングの理論やテクニカルスキルを取り入れ、実践とディスカッション・対話を重視したインタラクティブな授業を実施します。 (池照) グローバル企業の人事、組織開発管理職経験、および EQ 国際認定資格保有者の知識・経験を活かし、実践に即した授業を提供します。 (森) 複数の大学でのキャリアデザイン・内省プログラム実施の経験を活かし、学びを自分ごと化して実践するための授業を実施します。							
オフィスアワー								

科目の概要

・1年生での学びを統合し、「美しく生きる」についてグループでEQプロジェクト成果を発表する機会を通して互いを認め、自主的な行動によって関係を構築し、目的達成に向けた協働的な取り組みによって達成する

・協働プロジェクトのフレームワークを学び、チームで目的設定、成果物（アウトプット）、成功指標、計画を描き、発表する。発表には相互にフィードバックを得て、プロジェクトの振り返りをし、自らの学びを話せるようにする。

・各回では、1年生で学んだ自己受容、自他の感情マネジメントの振り返りを実施し、個人、およびチーム双方の視点で変化と学び振り返りながら日々の意識と行動選択によって「美しく生きる」世界への貢献を実践、提案、発表、フィードバックする。

・これまでのすべての生活を経験として捉え、学校のディプロマポリシーを自分の経験から説明する。学校生活での成果と課題を可視化し活かす方法を見つける。

・後期は、前期で行った「美しく生きる」について個人で発表を行う。禅を体験し答えがないものに対して答えを出すことの難しさと喜びを理解する。多様な価値観や考え方を理解し、自分なりの「美しく生きる」についてできる行動を考え、実行し、学びと社会的意義について述べる。表現方法は各自自由。

<2025年度>後期は、自分の美道を社会の中でいかに発揮していくかについてリーダーシップの観点から学び、実践につなげていくための行動施策を考え、発表する。卒業後の自分のビジョンをより明確に描き、社会の中で、自分の個性や特徴を活かしたリーダーシップをどの様に還元していくかを自分の言葉で表現できる力を養う。

授業方法

対面	オンライン	ハイブリッド	ディスカッション	プレゼンテーション	作品制作
-	-	○	○	○	-

授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）

ディプロマポリシー	授業の目標
DP6	2年間の学びを振り返り、学外のゲストの講話を聴き、インタビューを行うことで自分なりの「美しく生きる」という定義を持ち、その為に必要な行動は何かを考え、説明することができる。
DP2	正解がないものに対して、身の回りのすべてのものからアイデアやヒントを得る視点をもち主体的に実践できる。
DP3	ディプロマポリシーを理解し、自らの経験から課題と解決のために必要な行動を言語化・可視化することができる。
DP4	協働プロジェクトの意義、目的、概要を理解し、チーム計画立案し、実践のためのコミュニケーションをとることができる。互いを知り、自己を含め一人ひとりの個性、強みを理解し、自主的に働きかけながら協働プロジェクトを進め、関係構築や関わりからの気づき、学びを自分の言葉で述べることができる。

教科書・教材

教科書	なし、または一部の授業で教員作成資料あり
参考文献	EQ+LAB. https://is-plusseq.com/
各自準備教材	オンライン授業用にPC（タブレットなどの大きな画面があるデジタルデバイス可）イヤホン（マイク付きのもの）

評価方法

筆記試験	実技試験	受講態度	小テスト	レポート	プレゼンテーション	作品	課題	その他
-	-	-	-	-	25%	-	50%	取材発表 25%

本科目では、授業の内容を基に課題を各自作成します。授業に欠席した場合や授業態度が悪い場合、課題を解くことが出来ません。しっかりと授業に望んでください。授業課題の提出50%、前期のプレゼンテーション25%、後期の取材発表25%

なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。

課題（試験やレポート）のフィードバックの方法

毎回の授業後に小レポートの提出を求めます。個別にフィードバックを行うほか、全体の学びになるコメントは次回授業内で講評として紹介することがあります

履修上の条件・注意

- ・必ずイヤホンを持参し、ハウリングが起きないように対処すること。
- ・オンラインでの受講に慣れていない場合は、事前に練習を行い遅刻しないように準備すること。
- ・学校のオンラインルールに従うこと。

※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。

本科目履修と関連する資格

なし

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間(分)
第1回	オリエンテーション	自己紹介、チーム作り、EQ プロジェクトの概要を知り、各自が自分の状況や気持ちを述べるができる。	相互紹介シートの作成。	60 分
第2回	プロジェクトの概要と計画方法を学ぶ	プロジェクトの概要を学び、「美しく生きる」をテーマに、ゴールに向けて準備する際のポイントを説明できる。	アイディアシートの作成。	60 分
第3回	ゴール設定と具体的な計画作成方法を学ぶ	チーム、または個人でゴールを設定し、プロジェクトの計画を実施し、プロジェクトシートを作成することができる。	プロジェクトシートの作成。	60 分
第4回	プレゼンテーション基礎講座 【ゲストスピーカー：大木 浩士】	プレゼンテーションの基礎を学び、プレゼンテーションの心構えを知り、準備する際のポイントを説明できる。	プロジェクトシートの作成。	60 分
第5回	プロジェクトに向けた情報収集の方法を学ぶ	プロジェクトに必要な情報の収集方法を学び、自ら行動を起こしプロジェクト活動を進めることができる。	プロジェクトシートの作成。	60 分
第6回	プロジェクトに向けた協力者の巻き込みの方法を学ぶ	プロジェクトに必要な協力者の巻き込み方法を学び、自ら行動を起こしプロジェクト活動を進めることができる。	プロジェクトシートの作成。	60 分
第7回	チームビルディングを学ぶ	プロジェクトマネジメントに必要なチームビルディングを学び、協働して準備を進めることができる。	プロジェクトシートの作成。	60 分
第8回	コンフリクトマネジメントを学ぶ	プロジェクトマネジメントに必要なコンフリクトマネジメントを学び、チームの衝突や折衝について話し合い、互いに意見を発表できる。	プロジェクトシートの作成。発表資料の作成。	60 分
第9回	マインドセットを整え互いの気持ちを整えながら、EQ プロジェクトを学ぶ	プロジェクトの発表に向けて、これまでを振り返り、互いに気持ちを整え、発表することができる。	フィードバックシートの作成。	60 分
第10回	「美しく生きる」ことを表現し、EQ プロジェクトの発表をする【対面授業】	プロジェクトをチーム単位で発表し、互いにフィードバックしあうことができる。	プロジェクト振り返りシートの作成。	60 分
第11回	「美しく生きる」をテーマにゲストスピーカーの講話を聴き、気付いたこと、学んだことを述べる 【ゲストスピーカー：田中 美和】	「美しく生きる」キャリア編の講話を聴き、学んだことと自らの意見を述べるができる。	講話の聴講と振り返りシートの作成	60 分
第12回	「美しく生きる」をテーマにゲストスピーカーの講話を聴き、気付いたこと、学んだことを述べる 【ゲストスピーカー：朝比奈恵温】	「禅」の体験（または講和視聴）を通し、学んだことを自分なりの言葉で表現できる。	講和の視聴と振り返りシートの作成。	60 分
第13回	ゲストスピーカーの講話から、気付きと学びをまとめ、グループで話し合いをして発表する	ゲストスピーカーの講話を通し、グループでポイントをまとめ学びを述べるができる。	講話プログラム振り返りシートの作成。	60 分
第14回	モチベーションコントロールとセルフマネジメントを学ぶ	モチベーションアップの仕組みを学び、自らの行動に意識的になる為のセルフマネジメントができるようになる。	授業での学びについての学習シートの作成。	60 分
第15回	前期の振り返りと後期に向けた目標設定	前期に学んだことを他の学生と議論して出ている部分を整理し、卒業までの課題点を説明することができる。	卒業までの自信の行動計画であるアクションプランシートの作成。	60 分

	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間(分)
第16回	オリエンテーション（対面）	後期の授業の内容を理解し、授業内容を体得していくために自分にとって必要な課題を説明出来る。	自分の現在地と卒業時のゴールについて整理し、言語化する	60分
第17回	「美しく生きる力」とリーダーシップとの関連性を学び、理解する	「美しく生きる力」とリーダーシップの関連性を今の時代に求められているリーダー像やリーダーシップの側面から理解し、述べる事ができる。	学びのポイントを自分の言葉で表現する	60分
第18回	自分らしいリーダーシップの発揮の仕方を知り、言語化する	自分の特性や個性に沿ったリーダーシップの発揮の仕方について知り、言語化をすることができる。	具体的に自分らしいリーダーシップの発揮の仕方実践出来ることを明確にする	60分
第19回	＜自ら動く力＞の必要性を学び、実践に活かす	事例を通じて、＜自ら動く力＞の観点から、リーダーにとって必要な姿勢やマインドを学び、自分自身が実践に活かす具体的な行動ができる。	＜自ら動く力＞の観点からロールモデル像を探し、学ぶポイントについて自身の言葉で振り返りを行う	60分
第20回	ダイバーシティ&インクルージョンを理解し、自分事として述べる（対面）	リーダーとして必要なダイバーシティ&インクルージョンの観点を理解し、自分事として捉え、述べる事が出来る。	身近な事例を取り扱い、学ぶポイントについて自身の言葉で振り返りを行う	60分
第21回	協働することでの可能性を学び、実践の中での課題を見出す	他者との協働を通じた必要性と可能性について学び、自身が実践することを見つける。	＜協働＞の観点からロールモデル像を探し、学ぶポイントについて自身の言葉で振り返りを行う	60分
第22回	＜周囲を巻き込む力＞の必要性を学び、実践に活かす	事例を通じて、＜周囲を巻き込む力＞の観点から、リーダーにとって必要な姿勢やマインドを学び、実践に活かす具体的な行動ができる。	＜周囲を巻き込む力＞の観点からロールモデル像を探し、学ぶポイントについて自身の言葉で振り返りを行う	60分
第23回	リーダーシップに求められる自己表現を理解し、プレゼン準備の土台を作る（対面）	第24回以降から始まるプレゼン準備に向け、作成プロセスや発表時に必要な観点を理解した上で、自分の目標を言語化することができる。	プレゼン準備に向けた情報収集や資料準備	60分
第24回	「私の美道とリーダーシップ」プレゼン準備＜自分自身の美道を言語化する＞	自分自身の美道とは何かを、自分の言葉で明文化することができる。	プレゼンテーションシートの作成	60分
第25回	「私の美道とリーダーシップ」プレゼン準備＜ビジョンを言語化する＞	リーダーとしてビジョンを描くことの必要性を学び、自分自身のビジョンを明文化することができる。	プレゼンテーションシートの作成	60分
第26回	「私の美道とリーダーシップ」プレゼン準備＜ビジョンを表現する＞	自分自身の美道とビジョンをどの様に表現してリーダーシップを発揮していくかをアクションプランとして策定することができる。	プレゼンテーションシートの作成	60分
第27回	「私の美道とリーダーシップ」発表	自分自身の言葉で、自分の美道とリーダーシップの発揮の仕方について考えを述べる事が出来る。聞き手は、他者のフィードバックの重要性を学び、発表時に実践することができる。	振り返りシートおよびプレゼンテーションシートの作成	60分
第28回	「私の美道とリーダーシップ」発表	自分自身の言葉で、自分の美道とリーダーシップの発揮の仕方について考えを述べる事が出来る。聞き手は、他者のフィードバックの重要性を学び、発表時に実践することができる。	振り返りシートおよびプレゼンテーションシートの作成	60分
第29回	「私の美道とリーダーシップ」発表	自分自身の言葉で、自分の美道とリーダーシップの発揮の仕方について考えを述べる事が出来る。聞き手は、他者のフィードバックの重要性を学び、発表時に実践することができる。	振り返りシートおよびプレゼンテーションシートの作成	60分
第30回	後期の全体リフレクション（学びの意味づけと実践に向けて）（対面）	フィードバックシートを元に、発表の振り返りを行い、学びを自身にとって意味づけし、実践に繋げていくための課題を明確にすることができる。	後期授業を通じての自分自身の変化や成長を整理し、言語化する。卒業後の目標について明文化	60分